

圧密自動載荷試験装置

圧密自動載荷試験装置とは、空気圧を利用して各載荷段階を制御して変化する圧密沈下量を測定する装置です。

低圧及び高圧領域 2 種の圧力を低摩擦ペローフラムシリンダに供給して精度の高い制御が可能です。

収録されたデータは、テキスト形式で保存されますので市販のアプリケーションソフトで処理する事が出来ます。

特徴

1. 長期間の稼動とノイズに強い FA コンピュータを採用。
2. タッチパネル式モニターの採用で省スペース。
3. 最大 10 連の圧密載荷試験を制御・計測。
4. 各連の空圧-荷重関係を自動校正により精度の高い載荷が可能。
5. 各連の圧密圧力(9.0~270kN/m²)を任意に設定。
6. 簡単な機器構成によりメンテナンスが容易。



構成

1. ペローフラムシリンダ式応力制御載荷装置(各連独立)
2. 空圧制御・計測装置
3. 圧密容器

仕様

名称		空気圧式圧密自動載荷試験装置
電源、供給圧		1. AC100V 50/60Hz 2. 800Kpa 以上
圧密圧力範囲		9.0~270 kN/m ²
連数		1~10 連(任意選択)
載荷装置	方式	ペローフラムシリンダ載荷方式
	検出器	高精度ひずみゲージ式変位計(10mm)
	外径	1載荷装置:250(W)×250(D)×450(H)mm
制御計測装置	空圧制御	100kPa(低圧領域)と700kPa(高圧領域)の2種の圧力を電空レギュレータで制御。
	アンプ	1~11CH(選択)ストレインアンプ内蔵(オートゼロ、オートゲイン方式)
	校正	500N、5KNの荷重変換器で各載荷装置を校正。(荷重変換器はオプション)
	設定	各連の圧密圧力、圧密時間を任意設定。(最大15載荷段階設定)
	モニター	タッチパネル式モニター(10.4インチ)。*キーボード、マウスはオプション
	OS	WindowsXPEmbedded
圧密容器	試料寸法	φ60×20mm
	外径寸法	

*仕様内容について予告なく変更する事が有ります。予めご了承ください。

製造元

株式会社 エイ・アンド・ディー

東京都台東区根岸 3-1-19

TEL03-3873-2141 FAX03-3871-0804